

1

① 船長

② 通う

③ 夜間

④ 羽毛

⑤ 海水

2

1 ① ら

④ つ

2 ウ

3 モグラ

4 A イ

B ウ

C オ

5 エ

6 ごみ

3

1 エ

2 人気

3 A ウ

B ア

4 I オ

II エ

III イ

5 ウ

6 も

ゝ

ン

【完答】

配点		
1	各2点×	5＝10点
2～3	各5点×	18＝90点
		<計>100点

① 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①の「船」の四画目と五画目を続けて書かないようにしよう。四画目は「丶」のように書く。②「通う」はある場所に定期的に、または何度も行くとこと。学校の場合は通学するとも言う。③「夜間」は文字通り、夜の間のこと。ことばとして知っておかないと書けない。昼間のことは昼間とも言う。④「羽毛」は鳥類の羽のことで、ダウンとも言う。軽くて温かい。⑤の「海」は「さんずい」をバランスよく書こう。右下の部分を「母」のように「丶」にしてはいけない。七画目はつきだしてはねる。

②

1 ① 「しげる」は草や木の葉がたくさん生えて、重なりあった状態になること。木の葉がしげることを木が葉をしげらせるとも言う。

④ この「つ」は「たり」の意味で用いる。「食いつ食われつ」は食ったり食われたりということである。「行きつもどりつ」「ためつすがめつ」などと使う。

2 「本文中にあげられていないもの」をえらぶ。直後に「土壌動物のミミズやダニ」が「食べます」とある。また、本文の最後の行で「キノコやカビなどの菌類」が「動植物のごみ」Ⅱ「落葉やかれ木、動物の死体」を「食べている」とある。「カエル」が「動物の死体」を食べるとは本文には書かれていない。

3 本文の最初の行に「土壌動物といわれる小さな生き物たち」とあり、「モグラをはじめ」とあった。この「はじめ」は主なもの、第一のものという意味である。

4 A 生き物の世界は植物を中心に動物たちが食いつ食われつしている ↓ では ↓ キノコやカビ、細菌などの菌類はどんな生活をするどんな生き物なのか。

(植物と動物のことから菌類のことに話題が変わっている)

B 土壌動物が食べられずに残ってしまう植物がある ↓ また ↓ 動物の死体やふんが残ってしまうことがある。

(植物のものが残る場合と動物のものが残る場合を並べている)

C 落葉や動物の死体だらけになってしまいかもしれない ↓ でも ↓ 森や林に動物や植物の死体があふれかえっていることはない。

(前後が反対の内容になっている)

5 本文の最後の行に「キノコやカビなどの菌類」が「大量の動植物のごみを食べている」とあった。アの「植木屋」では植物を植えていることになるし、イの「八百屋」では植物を売っていることになる。ウの「殺し屋」のように「菌類」が動植物を殺しているわけではない。

6 「菌類」が食べてくれるから、地球は「⑥だらけ」にならずにすんでいるのであった。「菌類」が「食べている」のは「大量の動植物のごみ」であった。「落葉」や「死体」や「ふん」では答えのうちの一部にしかないので不可である。

③

1 「ほとり」は近辺、すぐ近く、きわのことである。

2 「もうけが少なかった」のはピンポンに何が「ない」からであったか。

3 A エ「しんしつ」では「ベッドルーム」だけになってしまう。住居兼用なのである。

B 「夕食のしたく」の「りょうり」にとりかかったところであった。いくら「夜風」が強いとはいえ「じむしょ」の中でイ「マフラー」をするほどではないようだし、お客を出むかえるのに、ウ「ネクタイ」やエ「ベルト」を「はずす」のはおかしい。

4 そもそもアでは「りょうり」が完成したことになるし、ウでは「りょうり」を食べ終わったことになる。

I あとに「たずねます」とあった。そして「もうひとりのピンポン」の答えは「今日のメニュー」であった。

Ⅱ 前に「シカ肉の……じゃどうかね」とあって、あとに「では……買い出しに」とある。

Ⅲ このあとで「風」が強いからといって「買い物に行く」のをやめている。

5 「たんていピンポン」の「人気」があまりなかったこともヒントになっている。それで、もともとあまり「お金」がないのである。「買い物」をしてアのように「お金が増える」ことはないし、いくら「風」が強くてイやエのように「さいふ」がどうかなったりはしないだろう。

6 「ひとりもの」なのでさびしいのか、ピンポンは「自分にたずね」て、自分で答えているのであった。